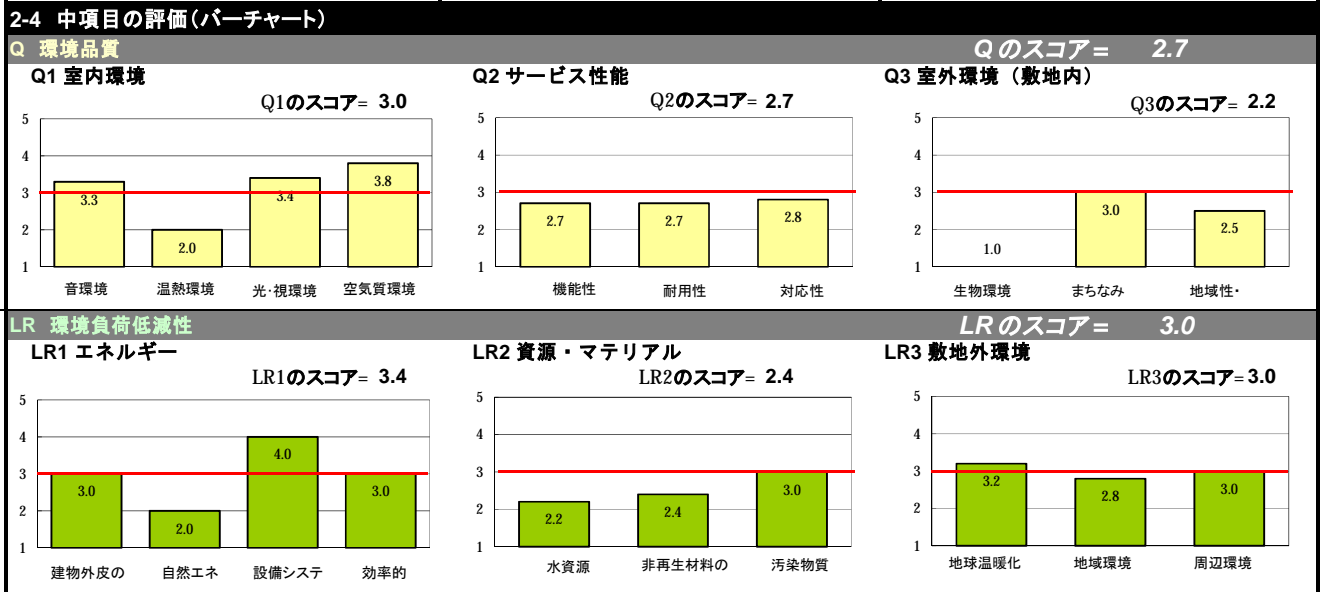
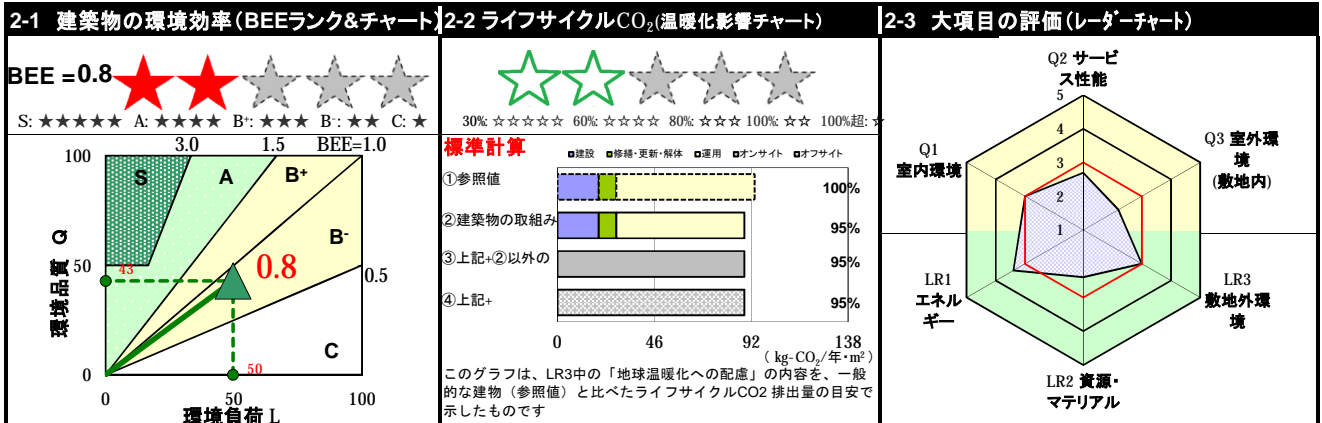


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レジャーアッシュ岸部南新築工事	階数	地上9F
建設地	大阪府吹田市岸部南1丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	112人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年2月6日
敷地面積	755㎡	作成者	野嶋 一広
建築面積	401㎡	確認日	2020年2月6日
延床面積	3,100㎡	確認者	西村 昌高

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
外観は、タイル貼で重厚感を演出し、配色によりアクセントをつけた。アプローチに沿って緑地をできる限りとり、奥行き感を演出している。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 使用建材を配慮している。 住戸サッシにT-2採用で室内環境に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> できる限りの緑化に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 共用部にLED照明を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0154

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)レジューラルアッシュ岸部南 新築工事						
		建設地	大阪府吹田市岸部南1丁目						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-		
①	CO2削減						3		
②	みどり・ヒート アイランド対策						2		
③	建物の断熱性						3		
④	エネルギー削減						4		
⑤	自然エネルギー直接利用						—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									